

三重大学附属図書館研究開発室 平成26年度事業報告

I. 事業の概要

1. 附属図書館及び環境・情報科学館の学習支援環境の整備・支援

設定した2つの計画のうち、ひとつめの「学生のフォーカスグループインタビューを実施する」については、3月19日に、12名の学生（学士課程の学生10名、大学院課程の学生2名）を対象として実施し、附属図書館や環境・情報科学館の施設やサービスに関する課題を明らかにした。ふたつめの「先進的な取組を行っている大学を視察する」については、専任教員と協力教員が兵庫教育大学、大手前大学、立命館大学、同志社大学、京都大学、国際教養大学のラーニングコモンズや学習スペースを視察し、関係者への聞き取りを行った。視察の成果については、7月28日に実施した附属図書館の第1回SD研修で図書館関係者と共有し、三重大学附属図書館のラーニングコモンズの運営のあり方について関係者でディスカッションを行った。3月12日には第2回SD研修として、大学図書館を取り巻く大学教育改革の動向に関する説明会とワークショップを行った。ここでのディスカッションをもとに、図書館関係者が附属図書館の課題を明らかにした。三重大学附属図書館のラーニングコモンズの成果については、国内の高等教育関係や図書館情報学関係の招待講演で発表した。

(長澤・加藤・毛利)

大学図書館が記録している大規模な入館および貸出データを利用して、1) 大学図書館の「利用」指標を検討し、2) 入館・貸出データを組み合わせることで、図書館および蔵書の利用パターンをより詳細に明らかにすることを目的として調査を計画した。本年度は、1) 調査実施のための体制整備から行い、当初の想定以上の付帯的作業が必要であることが判明したが、結果として2) 医学系研究科研究倫理審査委員会での研究実施承認、3) 平成25～26年度のデータの整備、4) 同データに対する予備分析を行った。

(三根)

2. 学術情報リテラシー支援

(長澤・加藤・毛利)

平成26年度についても、専任教員及び協力教員が、図書館員とともに、高い学修成果を得られる情報リテラシー教育のモデルを構築するために、初年次教育科目であるスタートアップセミナー（工学部建築学科）及び学部の専門教育科目である「建築計画Ⅰ」および「建築経営工学Ⅱ」において科目関連指導を実施した。その中で、附属図書館と建築図書室の蔵書構成の違いを説明した。学生の学習成果を明らかにするために、学習ポートフォリオやピア評価を実施した。現在、収集したデータの整理を進めている。成果の一部については、国内の招待講演等で発表した。

3. 附属図書館所蔵資料に関する調査研究

○『伊勢新聞』のデータ化

(塚本)

附属図書館が架蔵する『伊勢新聞』の紙焼き版を用いて、明治前期から戦前期まで（一部

は昭和30年まで)を対象に、三重大学とその前身の諸機関に関する記事と、志摩の海女に関する記事を検索し、最終的に昭和20年までを対象として、三重大学関係記事3245件、海女関係記事363件をデータ化した。公開の方法等は、今後検討する。

○和本カードの電子化

(吉丸)

和本をOPACに登録するための下準備となる、和本カード約1000点の電子データ化を行った。整理の途中成果を「開化期の教科書」展(4月10日より5月30日)、「近代辞書の歩み」展(7月22日より10月22日)、「江戸時代の辞書」展(12月10日より2月3日)の三つの展示で公開した。

4. 歴史的・文化的・社会的資産データ集積事業の整備

(塚本)

昨年度まで三重県史編さん班と連携して行ってきた、三重県関係の歴史的・文化財資産データ集積事業(平成19年度から開始)について、これまでの調査カードのデータ整備を行った。加えて、この事業を引き継ぐ三重県総合博物館の関係者と、今後データをどのように活用し、またさらに集積を図るかについて調整した。

5. 「大学の知」に関する地域との連携及び地域への還元活動

○海女研究会の運営

(菅原・塚本・石原・川口・吉村)

三重県総合博物館、海の博物館と三重大学(図書館)が連携した調査研究活動の一環として、海女研究会の運営に当たった。今年度は5回の研究会を開催し、活発な議論を行った。

(海女研究会開催記録)

平成26年4月21日(月)15:30～

場所 アストプラザ 4F 会議室

内容 塚本明(三重大学人文学部)「古文書に見る海女漁の『技能』」

平成26年6月16日(月)15:30～

場所 アストプラザ 4F 会議室

内容 小濱学(三重県教育委員会)「民俗文化財としての海女漁1」「民俗文化財としての海女漁2」

菅原洋一(三重大学工学研究科)「三重県教育委員会における海女調査の取組と文化財指定の経緯」

平成26年8月18日(月)15:30～

場所 アストプラザ 4F 会議室

内容 安美貞(韓国海洋大学校 国際海洋問題研究所)「済州道からみる韓国海女の歴史と文化」

劉 亨淑(東義大学校 ホテル・コンベンション経営学科)「韓国における「海女観光」の現状」

平成26年10月25日(土)

場所 志摩市磯部生涯学習センター

内容 シンポジウム「海女の後継者」(海女サミット 2014in 志摩)
石原義剛(三重大学客員教授)
塚本明(三重大学人文学部)
広田恵子(三重県雇用経済部長)
植地基方(三重県漁連水産振興室長)
和田康紀(三重大学人文学部)
川又俊則(鈴鹿短大)

平成 26 年 12 月 15 日(月) 15:30～
場所 アストプラザ 4F 会議室
内容 海女の後継者問題をめぐって
石原義剛(三重大学客員教授)
植地基方(三重県漁連水産振興室長)
川又俊則(鈴鹿短大)
和田康紀(三重大学人文学部)
塚本明(三重大学人文学部)

平成 27 年 2 月 16 日(月) 15:30～
場所 アストプラザ 4F 会議室
内容 川口祐二(三重大学客員教授)「千葉外房御宿の浜辺で」
石原義剛(三重大学客員教授)「海女漁業の振興について」

○? 「発見塾」三重大学シリーズに関する協力

(菅原)

? 「発見塾」(主催:津市教育委員会・津市民文化祭実行委員会、主管:津文化協会)は教育・研究の拠点、三重大学を市民の目線で理解し、より多くしろうという、津市民の思いから始められた講演会シリーズであり、また、津市における市民の文化集積の場として三重大学を理解いただき、地域と大学の信頼関係を構築することもねらいとなっている。この企画・運営に協力し、今年度は6回の講演会を開催した。

(? 「発見塾」開催記録)

平成 26 年 5 月 24 日(土) 13:30～
会場 津リージョンプラザ健康教室
内容 今井寛(附属病院救命救急センター・教授)「三重の救急医療」

平成 26 年 7 月 26 日(土) 13:30～
会場 一志保健センター
内容 和田康紀(人文学部・准教授)「超高齢社会にどう向き合うか～医療福祉介護の展望～」

平成 26 年 9 月 27 日(土) 13:30～
会場 津リージョンプラザ健康教室
内容 川口淳(大学院工学研究科・准教授)「南海トラフ地震に備える～生き残り、生きのびて、次につなげるために～」

平成 26 年 11 月 22 日(土) 13:30～

会場 美里社会福祉センター ホール

内容 川口淳(大学院工学研究科・准教授)「南海トラフ地震に備える～生き残り、生きのびて、次につなげるために～」

平成 27 年 1 月 24 日(土) 13:30～

会場 津リージョンプラザ健康教室

内容 山田雄司(人文学部・教授)「ここまでわかった！忍者・忍術ってほん
と？」

平成 27 年 3 月 28 日(土) 13:30～

会場 津リージョンプラザ健康教室

内容 立花義裕(大学院生物資源学研究科・教授)「気象と市民生活～異常気象が起
こる理由が分かると人生絶対に得します～！」

6. 先志摩半島総合調査プロジェクトー先志摩海女漁村の文化調査

(菅原・塚本・石原・川口・吉村)

三重県総合博物館との連携事業として、志摩市の先志摩半島の総合調査を開始した。今年度は、越賀区郷蔵文書調査、熊野比丘尼ゆかりの妙祐庵および関連建造物調査、越賀区集落調査、志摩海女のライフワーク聞き取り調査を行った。

Ⅱ. 室員の活動

■【地域貢献】

- ・長澤多代. 桑名市教育委員会 図書館協議会委員（副会長）

■【個人研究】

- ・長澤多代「大学教育における教員と図書館員の連携の構築に関する比較研究」科学研究費補助金（基盤研究C）2012年度～2014年度.

■【招待講演】

- ・長澤多代「三重大学「4つの力」スタートアップセミナー」の授業づくり」「フィンランドの大学図書館における情報リテラシー教育」〔研修（講師）〕2014年度学部間共通総合講座「図書館活用法」SD研修会「図書館リテラシー教育の改善に向けて」明治大学図書館，明治大学和泉図書館，2014.8.1.
- ・長澤多代「主体的な学修を促すラーニングコモンズの運用と設計」〔基調講演〕平成26年度東北地域大学教育推進連絡会議，弘前大学，2014.10.18.
- ・長澤多代「アクティブラーニングを目指して：ラーニングコモンズによる学習環境の整備」〔基調講演〕平成26年度兵庫県大学図書館協議会研修会，関西学院大学，2014.10.24.
- ・長澤多代「三重大学のスタートアップセミナーにおける情報リテラシー教育」〔事例報告〕／仁上幸治，和田佳代子，鈴木恵津子，長澤多代，日向義和，高橋みち子「図書館利用教育の実践力の今」〔パネルディスカッション（パネリスト）〕第100回全国図書館大会・第23分科会・利用教育，明治大学駿河台キャンパス，2014.11.1.
- ・長澤多代「教員と図書館員が連携する学術情報リテラシー教育」〔講義〕国立情報学研究所，平成26年度学術情報リテラシー教育担当者研修，国立情報学研究所，2014.11.27.
- ・上田信行，河西由美子，長澤多代，小山憲司「学びの空間デザインとファシリテーション：図書館を活用した学習支援を考える」〔シンポジウム（パネリスト）〕日本図書館情報学会，第62回日本図書館情報学会研究大会，2014.11.30.
- ・NAGASAWA Tayo. "Building Collaboration between Faculty Members and Librarians in University Education," [Lecture] Department of Library and Information Studies, Graduate School of Education, Seminar Series Spring 2015, University at Buffalo, State University of New York, Buffalo (New York, USA), 2015.2.24.

【その他】

- ・長澤多代「ラーニングコモンズの調査報告」平成26年度第1回三重大学附属図書館SD研修，2014.7.28.
- ・長澤多代「大学教育改革における大学図書館の役割：大学図書館の学習・教育支援機能」平成26年度第2回三重大学附属図書館SD研修，2015.3.12.
- ・三根慎二「三重大学ラーニング・コモンズ利用実態調査報告書」三重大学附属図書館研究開発室，2014, 77p.

Ⅲ. 組織

	氏名	専門領域	所属・職名
室長 (附属図書館長)	吉岡 基	海産哺乳動物学	理事(研究・情報担当)・副学長
専任室員	長澤 多代	図書館情報学	附属図書館研究開発室・准教授
兼務室員	塚本 明	日本史学	人文学部・教授
兼務室員	菅原 洋一	日本建築史	工学研究科・教授
兼務室員	三根 慎二	図書館情報学	人文学部・講師
客員教授	石原 義剛	博物館学	海の博物館館長
客員教授	川口 祐二	漁村生活史	エッセイスト
客員教授	吉村 利男	日本史学・考古学	三重県史編さん班編集委員
協力大学教員	加藤 彰一	建築学	工学研究科・教授
協力大学教員	吉丸 雄哉	日本近世文学	人文学部・准教授
協力大学教員	毛利 志保	建築学	工学研究科・助教